



研推だより

(R2.4.2)

研究主題 『 Let's try communication more! 』

～児童が主体的に取り組む外国語教育の創造～

(1) 新学習指導要領の全面实施

外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、情報を整理しながら考えを形成し、再構築すること。

目標

3・4年 外国語活動	5・6年 外国語	中学校 英語
<p><u>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。</u></p> <p>音声面を中心に</p>	<p><u>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。</u></p> <p>「読む」「書く」を加える</p>	<p><u>外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおりに育成することを目指す。</u></p>

・五つの領域【聞く・読む・話す(やり取り)・話す(発表)・書く】で英語の目標を設定し、小・中・高等学校で一貫した外国語の目標実現を目指す。

(2) 新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導のポイント

① 言語活動について理解する

・言語活動とは…実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う活動

(中学校：知識・理解を深めること、互いの考えや気持ちを伝え合う活動)

・単元にゴールとなる言語活動を適切に位置づけ、児童に明確に示す。ただし、音声に十分慣れ親しんでから行う。

・言語活動の充実に向けて、コミュニケーションの目的や場面、状況などを意識した活動を行う。児童が学習した語彙や表現などを実際のコミュニケーションにおいて思考・判断しながら活用することができるように工夫する。

② 文字指導について理解する

・中学年…文字の「読み方」と「文字」の一致

・高学年…音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現について「なぞる」「書き写す」「選んで書く」を行う。大文字と小文字を四線上に正しく書く。※文字の「音」

(3) 年間講師について 阿部フォード恵子先生

CALA(キャラ)代表。CALA Workshop 会長。ハワイ研修センター所長。聖学院大学講師。児童英語及び公立小中学校教員研修養成指導の第一人者。東京都港区及び埼玉県行田市教育委員会英語教育スーパーバイザー。国際語学学会 TESOL 小学校教育部門国際問題委員会委員長。

CALA (Communication And Language Associates) は 1973 年、人間相互理解においては、コミュニケーション能力の習得が最も重要であるとの信念に基づいて設立されました。創立以来、児童、青少年少女及び青年層のために、さらにその指導者、教育関係者のために CALA メソッドをとおして研修研究を重ね、文化語学教育の向上を目指して幅広い活動を展開しております。

コミュニケーションはアートです！人間相互交流というアートです。語学学習に必須な4つのスキルは”聞く、話す、読む、書く”です。更によりスムーズな対人関係のための訓練をコミュニケーティングとして5番目のスキルに加えています。そしてこの総合的な5つのスキルがアートとなります。CALA は異文化・自文化学習を含めた対人コミュニケーションのために、CALA メソッドである3A(attitude-姿勢、approach-方法、action-行動)を通してこの5つのスキルを研鑽、研磨することをフィロソフィーとしています。

(4) 今年度の目指す児童像について… (昨年度の成果と課題より)

低学年	簡単な表現や言葉を用い、友達と楽しく関わり合える子ども
中学年	身近な表現や言葉に慣れ親しみ、 <u>自らコミュニケーションを楽しむ子ども</u> (昨年度…考えや気持ちを聞いたり伝えたりする子ども)
高学年	様々な表現や言葉を用い、 <u>他者意識をもちながら</u> 、自分の考えや気持ちを伝え合う子ども (昨年度…他者に配慮しながら)

(5) 今年度の取り組み (予定) ※昨年度末、研推より

- ・児童の実態に合わせて、朝の会・帰りの会に英語を取り入れる。
- ・給食の時間に英語の歌 (パブリカ英語版・ディズニー等) を長期間流す。
- ・OJT の時間を昨年度よりも更に有効活用する、
- ・英語集会 (9月、10月、11月) の実施
- ・研究授業や英語集会は、出来る限り ALT とともに行う。
- ・校内英語研修 (講師依頼行う) を行う。ALT 派遣会社 (インタラック) から来校してもらう。

(6) 研究授業・研究発表

	第1回	第2回	第3回	第4回	研究発表
日程	7月1日(水)	10月21日(水)	11月25日(水)	12月10日(木)	2月9日(火)
授業 学年	6年2組 (5校時)	5年1組 (5校時)	3・4年 (4・5校時)	1・2年 (4・5校時)	全学級

(7) 4月9日(木) 研究全体会について→延期

昭和女子大学附属昭和小学校 英語科主任 幡井 理恵先生による講演

〈内容〉・5、6年「外国語」の評価について

・低学年への授業

※その他、質問したいことを各学年でまとめておいてください。

(8) ALT について

Ricardo Cirilo Amores Mercado (リカルド メカルド) ※リッキー先生

男性 フィリピン

1・2年は、ALTが入ることはありません。

3・4年は、ALT 予定表通りに授業を行うことができれば、ALT とともに年間35時間(2月9日含めて)行うことになります。

5・6年は、年間70時間のうち、半数は担任のみで授業を行うことになります。

(9) 授業公開について→延期

4月14日(火) 2校時…6年2組教室

※授業の進め方等、参考にしていただけたらと思います。今年度、新しく来られた先生方、ぜひ参観ください。